



消費者情報

No.145

カラビナ

発行日 平成27年3月3日
 発行者 特定非営利活動法人
 新潟県消費者協会
 事務局 〒950-0394
 新潟市中央区上所2丁目2番2号
 新潟ユニゾンプラザ1階
 TEL・FAX (025) 281-5558

E-mail n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp URL <http://www.nshyokyo.org/>

★ホームページアドレスが変わりました。

平成26年度 消費生活サポーター講座



弁護士 若槻良宏 先生



東京経済大学 教授・弁護士 村千鶴子 先生



佐渡市消費者協会



佐渡市立消費生活センター
横山清子 相談員



弁護士 拝師徳彦 先生

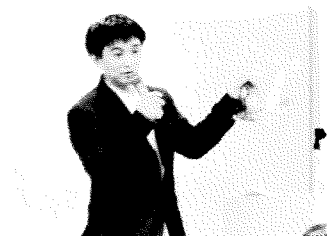
目次

- NEWS（平成26年度協会事業・受託事業報告）…………… 2 P
- 「もっとつながろう！地域から」長谷川かよ子会長
消費生活ネットワーク新潟NEWS、
平成27年度通常総会・記念講演会のお知らせ…………… 3 P
- 地区だより…………… 4 P・5 P
- あなたのお家は大丈夫？…………… 6 P
- 消費者トラブルキーワード「キャッシュレスでの買い物トラブル」、
作ってみませんか！「電子レンジでつくる 簡単イチゴ大福」、編集後記…………… 7 P
- 〈現場を見せて〉新潟県味噌工業協同組合連合会…………… 8 P

●カラビナとは…… 登山に使われる金属製の輪です。カラビナが登山のロープをしっかりと繋ぎ、支えるように、この消費者情報が必要な情報を消費者に、消費者の声を事業者・行政に繋ぐ役目を果たすようにと名付けました。

NEWS

平成 26 年度協会事業報告



中越地区講演会 小宮山芳治さん

●11/28 中越地区講演会「知っておきたい 地産地消の話」

講師の(株)越後川口 常務取締役 小宮山芳治さんは、川口の農産物直売所「あぐりの里」で、学校給食、イベント等様々な活動を通じて地産地消に取り組んでいます。後継者不足、貿易自由化、円安など難しい時代の中で、より良いものをできるだけ安く提供しようという生産者の苦労がよくわかる内容でした。消費者として、農産物に対して知らないことが多いことを痛感し、地産地消の良さを改めて見直した講演会でした。参加 47 人。

平成 26 年度受託事業報告

●消費生活サポーターフォローアップ講座

11/20 (木) 10:00~15:30 新潟ユニゾンプラザ 参加 76 人

新潟県消費生活センターの最近の相談事例、新潟県防災局から県内の火災発生状況とその対策、新潟県警から最近の消費者被害についての情報提供、消費生活サポーター活動紹介などのプログラムを実施しました。その中の講演「なぜ人は騙されるのか」について紹介します。



■講演「なぜ人は騙されるのか」(新潟青陵大学大学院 教授 碓井 真史 氏)

「人はうそをつかずに生きていくことができないので、騙されるのはふつうのことです。」と切り出されました。私たちは小さい頃から人を信じるように育てられてきています。性善説が基本だからです。しかし、騙される人の多さから、消費者被害が後を絶ちません。人間の本能的な弱さを理解することが大切ですよとお話されました。特に騙されやすい人は、①強い欲望や夢を持っている人 ②強い不安を持っている人 ③善人や素直な人 ④詐欺にかかる人は愚かな人だと思っている人、だそうです。詐欺などの被害者が一向に減少しない実態がありますが、私だけは大丈夫と思わないで、誰もが騙されやすい存在であることを認識して被害者にならないよう努めたいものです。(編集委員 山本 ヒサ)

●消費生活サポーター養成講座

佐渡市(10/1~10/29)と上越市(10/28~12/2)で各会場 5 日間、全 11 講座を実施しました。新潟市と長岡市以外で初めての養成講座ということで、皆さんたいへん熱心に受講されました。新たに佐渡市で 20 人、上越市で 29 人の方が、消費生活サポーターとして登録されました。県内で消費生活サポーターが特に少なかった佐渡市と上越地域で、多くのサポーターが誕生したことで、今後この地域の活動がさらに活発になっていくことを期待したいと思います。



●消費生活サポーター派遣事業

今年度も県内の町内会、老人会など様々な団体から申込があり、1 月末までに 54 件の啓発講座を実施し、述べ 2,313 人の方が受講しました。

活 動
テマ

魅力ある消費者市民社会に向けて行動しよう！

～安全・安心な生活を支える仲間を増やし、輪を広げよう～

もっとつながろう！地域から ～みんなの連携・協働のさらなる推進に向けて～ 会長 長谷川 かよ子



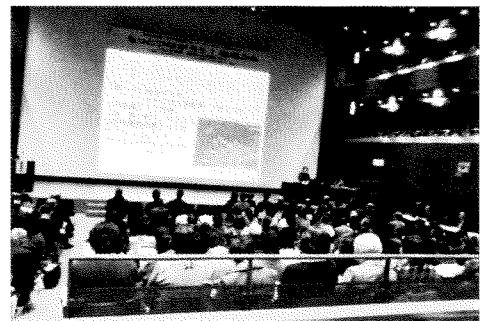
去る2月19日に平成26年度「地方消費者グループフォーラム関東ブロック大会」が栃木県総合文化センター(宇都宮)で開催され、新潟県消費者協会の取組実践を報告いたしました。当協会は、「消費者被害防止のための担い手養成と親子消費者教室」と題して、今年度の新たな取り組みについて会長長谷川と副会長川井が分担して報告しました。

報告の内容はまず、「消費者被害防止のための担い手養成」について。今後の消費生活サポーター養成講座の県内全域での開催を目標に、今年度はサポーターの少ない佐渡市と上越市を会場に実施しました。受講者からは、消費者問題の第一線で活躍中の講師陣から学習する機会を得たと大変好評でした。多くの新しいサポーターが養成され、今年度の登録者数を含めて、消費生活サポーターの数は合

計198人となり、今後の活躍が期待されます。

また、消費者教育の新たな取り組みとして親子を対象にした消費者教室を県内3か所で開催しました。その一つ小千谷小学校では、「初めてのスマホ 使う前に知っておきたいこと」と題して小学校6年生と保護者など約180人の参加を得て、授業の一環として実施しました。情報化社会に立ち向かう子どもたちに対して切実な消費者教育として、有効な学びの場となりました。これらを踏まえて今後もさらなる連携・強化を図る取り組みを実施していきたいと思えます。

今回の発表については、関東ブロックの中でも地域の有効な取り組みとして注目され、各県でも取り入れていきたいとの感想が多くありました。



消費生活ネットワーク新潟NEWS

《消費者被害防止コラボレーション事業》

平成27年1月29日(木)三条市中央公民館
三条市シルバー人材センター、三条市、新潟県の主催で、人材センター会員、一般市民を対象に、啓発講座を実施しました。

「悪質商法被害を防ぐために」と題して、消費生活サポーターグループにいがた生活守り隊の寸劇に、江花史郎弁護士が解説を加え、わかりやすい内容で好評でした。



平成27年度通常総会・記念講演会のお知らせ

- ◆日時 平成27年4月24日(金)
通常総会：午後1時～2時20分
記念講演会：午後2時30分～4時
- ◆会場 新潟ユニゾンプラザ
4階 大研修室
- ◆記念講演会テーマ
「消費者教育と消費者市民社会の役割」
- ◆講師 横浜国立大学 教育人間科学部
教授 西村 隆男 氏

これからの消費者市民社会に向けて、私たちにできることは何か？どう行動していけばいいのか？
いっしょに考えていきましょう。

みなさん、ふるってご参加ください！

地区だより

- 日ごろ交流していても見えない各協会の大切にしている自慢のお宝
- を披露していただきました。我が協会のお宝を再認識したり、日ごろ
- 思い至らないすばらしい自慢を拝見して、新事業開拓のヒントになる
- ものがあるかも知れません。(編集委員 山本 ヒサ)

我が団体の自慢すること

◇新潟県警より表彰

設立以来実施してきた年金支給日の振り込め詐欺防止キャンペーン等の地域安全活動に対して、10月に感謝状が授与されました。会員一丸となった活動が社会に認知、評価され大きな励みになりました。これからも安全安心な消費者市民社会の形成の一端を担っていきたいと思います。

上越市消費者協会



◇30年以上続く不用品代理販売会

十日町市消費者協会

市民に浸透している一大事業です。大切に保管していた毛布などの贈答品が市民から提供され、それを1日限りの販売会で売ります。毎回大盛況で、売上金の30%が当協会の活動資金になります。感謝です！



◇エコバッグを作り続けて

柏崎市消費者協会

市の関連施設で忘れ傘をいただき、エコバッグを作ってくらしフェスタ中越等で販売しています。他に、会員が作っている手芸品を毎年12月に柏崎市民プラザで展示し好評です。介護エプロンも新たに開発しました。



◇家庭での廃油処理実態調査

小千谷市消費者協会

3Rキャンペーン街頭アンケート聴取に合わせて行いました。近隣の市では既に廃油の回収を行っています。調査の結果、市民が廃油の処理に困っているようであれば市への要望に繋がっていきたいです。



◇視察研修旅行

南魚沼市消費者協会

視野を広め親睦を深めるために、春は県外、秋は県内にバスで行きます。個人では行けない所が多いので喜ばれています。今年度は、かんてんぱぱ、メガソーラー発電所、県立植物園などに行きました。



◇会員と協力者がお宝

長岡市消費者協会



自慢のお宝は、「会員」です。小物・袋物等の手作り名人や笑いヨガ、手品、フラと多芸で貢献。くらしフェスタや中古衣料の準備や販売、3Rの調査員の活動にも協力を得ています。各イベント会場で大人気の産直笹団子も自慢です。

◇会員の熱意で成功

魚沼市消費者協会

県の提案事業で市民を対象に「得だね！消費生活ミニ講座」(3回)を開催しました。何度も打合わせを重ね、大勢の市民の参加を得て実りある講座が実施できました。これも会員一人ひとりの熱意によるものと感謝しています。



◇山岸秀子さんエコライフコンテスト環境賞を受賞

見附市消費者協会

お母様が施設に入所されたのでキッチンを整理、使用してない食材を見て、得意な棒寿司を作り、コンテストに応募したところ受賞しました。集まりには持っていくそうでガブリと食べ頬を緩ませた顔を見ると幸せを感じるそうです。



◇福島県相馬市へ復興視察

三条市栄消費者協会



恒例の県外視察を昨年11月に行いました。相馬観光復興御案内処スタッフから被災地を案内していただき、当時の被害の大きさを改めて実感することができて、有意義な視察となりました。

◇継続は力なり 繋げて未来へ

五泉市消費者協会



市の農業祭に30年以上参加しています。最初は慈善事業チャリティ市、今はリサイクル市に変わりました。秋の農業祭ではアピールを兼ねて手づくりペンケース、ボトルケースを作り、不用品と合わせて販売しました。

◇まとまってパワー全開

新潟市消費者協会新潟支部

会員以外にも多くの方が参加される不用品販売会、講演会、研修会、見学会、委託事業報告会などには理事が分担して計画を進め、当日は協力して盛り上げています。その結果、協調性はすばらしく、次への活力となっています。



◇男女力を合わせて盛り上げています

新潟市消費者協会新津支部

25名の少数会員ではさぞかし盛り上がりに欠けるのでは？との懸念は無用！高齢者も現役世代も忙しい中をやりくりして参加してくれる行事は沢山あります。秋の芋煮会には腕を奮ってくれました。ビールとともにカンパイ。美味しかった。



◇理事が自慢



新潟市消費者協会巻支部

4年後には50周年を迎える歴史ある会です。自慢は12人の理事です。課題に向けて、それぞれの特技を発揮して率先して役をこなしてくれる仲間です。また、失敗したEM石けん作りが成功し、ステキなラベルを付け販売できたことです。

◇神社境内の掃除で会員の親睦を

新潟市消費者協会白根支部

神社境内の掃除も恒例となり、総会、花見のとき等無理のないようにと実施してきました。落葉かき、袋詰め、運ぶ人とチームワークで、終わりましたとお礼の言葉、体を動かした心地よさ、楽しく食事をして親睦を深めました。



◇新たな発見 研修視察

新潟市消費者協会豊栄支部

10月に蛍光灯リサイクルセンター、ふるさと村、日報黒埼本社を見学し、個人では見ることができない資源の分別を見て説明を受けました。寒い日でしたが、楽しかったの言葉で笑顔になったバスの旅でした。



◇お手軽、簡単、バランスの良いお節料理講習会

村上市消費者協会

豪華なお節も魅力ですが、手作りできる正月料理（伊達巻き、八幡巻き、錦卵、温泉卵のカルパッチョ風、山海漬、辛子れんこん）に挑戦しようと栄養士さんから指導していただきました。材料費は700円、重箱に入るとステキです。



◇会員増を広報活動で

佐渡市消費者協会

当協会は平成19年に設立され、以来会員には、年2回佐渡市消費者協会会報を発行しています。また市報“さど”に協会欄を設けていただき年2、3回活動を紹介しています。この記事を見て入会した方がおられ感謝です。



＜お詫びと訂正＞

カラピナ144号の地区だより中越分の報告者を長岡市消費者協会としましたが、柏崎市消費者協会でした。お詫びして訂正いたします。

あなたのお家は大丈夫？

耐震診断 Q & A

阪神・淡路大震災から 20 年、中越地震から 10 年、中越沖地震から 7 年が過ぎました。あらためて自分の家は、地震に強い家か？弱い家か耐震診断(木質構造全般)について考えてみませんか？

Q 1 耐震診断とはなんですか？

A 建物の地震の揺れによる倒壊の可能性を確認するための調査です。

Q 2 昭和 56(1981)年 5 月 31 日以前に建築された木造住宅は、特に必要と聞きましたがどうしてですか？

A 建築基準法の耐震基準が改正される前の建物に該当し、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けましたので耐震の診断が必要です。

Q 3 耐震診断はどのように行いますか？

A ○一般人ができる「誰でもできるわが家の耐震診断」です。
(一般財団法人 日本建築防災協会のホームページを参照ください)
○専門家による診断「一般診断法」「精密診断法」があります。
一般診断法では、専門家による外観や床下・天井裏などからの目視調査を半日程度かけて行います。

Q 4 専門家による一般診断費用はどのくらいかかりますか？

A おおよそ 7 万円～10 万円くらいです(延べ面積・建物の形・その他の条件によります)。

Q 5 耐震診断費用に補助金は出ますか？

A ほとんどの市町村で、補助金の制度があります。(右図参照)
対象条件 ①昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てた住宅(リフォームしていても可) ②地上 2 階建て以下で現在住んでいる ③併用住宅で住宅部分の面積が半分以上ある(詳細はお住まいの市町村の建築担当窓口にお問合せください。耐震改修補助金制度もあります)

Q 6 どのくらいに頼めば良いですか？

A 専門家による耐震診断をお勧めします。専門家については、お住まいの市町村の建築担当窓口にご相談ください。訪問販売で【無料で耐震診断をします】という業者には、注意しましょう。



耐震診断補助金 持ち主負担額

新潟県内市町村リスト
(※規模・形状により異なる場合があります)

●**無料** 糸魚川市・胎内市・新発田市・聖籠町

●**5 千円** 新潟市

●**1 万円** 阿賀野市・出雲崎町・魚沼市・小千谷市・柏崎市・三条市・上越市・関川村・田上町・津南町・燕市・十日町市・長岡市・南魚沼市・見附市・妙高市・村上市・弥彦村・湯沢町

●**その他** 阿賀町・五泉市 費用の 9/10 を補助(上限 9 万円)、佐渡市 10 万円まで補助

●**補助金なし** 加茂市・刈羽村・粟島浦村

以下について、新潟県建築住宅課にお聞きしました

●どのくらいの方が木造住宅の耐震診断補助制度を利用しましたか？

→ 新潟県では、平成 18 年度～平成 25 年度までに約 4,200 件の補助を実施しています。

●住宅の地震対策として、新潟県独自の支援制度はありますか？

→ 高齢者又は障がい者を含む世帯に対して、耐震改修工事と合わせて地震保険等に参加した場合、その保険料等も補助する支援制度があります。なお、地震保険等に対する支援制度を行っていない市町村もありますので、詳細については、お住まいの市町村の建築担当窓口にお問い合わせください。

●その他、耐震対策についてコメントをお願いします。

→ 耐震診断・改修に対する補助制度の積極的なご活用をお願いします。なお、地震による家具の転倒防止対策を行うことも重要です。住宅の耐震化に合わせてご検討ください。



ちょっと建築の仕事に関わってきた私が自分の住んでいる家が安全なのか不安に思ってもなかなか耐震診断はできませんでした。今回一般人ができる「誰でもできるわが家の耐震診断」をやり、やはり専門家による耐震診断をお勧めしようと思いました。一消費者として、住宅を安全の面から考える機会にさせていただきたいと思います。(編集委員 中村 文子)

消費者トラブルキーワード

テーマ: キャッシュレスでの買い物トラブル



トラブル 1

●インターネット通販でバッグを買い、クレジットカード決済をしたが、商品が届かない。サイトへの連絡手段はメールしかなく、クレジット会社に連絡したら、代金はすでにサイトに支払済で調査に時間がかかり、いったんお金は引き落とされると言われた。

【アドバイス】

クレジット決済で支払う際は、金額や支払先の事業者を十分確認した上で、慎重に手続きをしましょう。特に実物を見られないインターネット通販では、業者の連絡先が不明瞭でないか、日本語がおかしくないかなどサイトの記載をよく見るのが不可欠です。



トラブル 2



●クレジットカードの利用明細に覚えのない8万円の請求があり、調べてみると、自分が以前使用していたスマホを使って、幼稚園に通う娘がオンラインゲームで遊び、ゲームのアイテムを購入していたことがわかった。

【アドバイス】

スマホは、解約してもWi-Fi(無線LAN)環境があるとインターネットにつながることもあり、簡単にクレジット決済ができることがあります。子供は親が思った以上に簡単にスマホの操作ができるもので、親子で使い方のルールを話し合しましょう。

●不安に思ったりトラブルにあった場合は、すぐに最寄りの消費生活センターなどに相談しましょう

作って みませんか!

電子レンジでつくる 簡単イチゴ大福

材料 (12コ分)

白玉粉	125g	白あん	200g
イチゴ	12コ	砂糖	80g
水	180cc	片栗粉	適量



作り方

- 1 イチゴを中にして、白あんを丸めておく。
- 2 耐熱容器に白玉粉を入れ水を加えて、しゃもじでよく混ぜる。
- 3 レンジ(強)で3分かけ、よくかき混ぜる。砂糖の1/3量を加え、練り混ぜる。
- 4 再びレンジで1分かけ、かき混ぜる。砂糖1/3量入れ練り混ぜる。
- 5 もう一度レンジで1分かけ、かき混ぜ、残りの砂糖を入れて練り混ぜる。
- 6 最後にもう1回レンジに1分かけ、かき混ぜる。(レンジ600Wを使用した場合です)
- 7 バットに片栗粉をひろげ、6をあけて12等分する。
- 8 手粉をつけながら1を7で包み、イチゴ大福の出来上がりです。

「新潟市消費者協会」のホームページ内「新潟の味」は、新潟の食材を使った物や郷土料理を紹介しています。会員が実際に作っているものばかりです。平成26年12月で100品のお料理が紹介されました。これを記念して、掲載したもののから春のお菓子を紹介します。(掲載年度 平成20年4月 38番目のお料理 鳥井家のイチゴ大福)

【編集後記】カラビナは事務局と4人の編集委員で作成しています。データで入稿し、印刷だけお願いして経費を節約しています。パソコンの技術が伴わないところは、ベテランから教えていただきながら頑張っています。(編集委員 山本 ヒサ)

《現場を見せて！》 新潟県味噌工業協同組合連合会

味噌は日本の伝統食品の一つであり、最近は発酵食品の代表としてその有効さが見直されています。その業界を束ねている新潟県消費者協会の賛助会員である新潟県味噌工業協同組合連合会を紹介します。合わせて実際の味噌造りの現場を組合に加盟している新潟市沼垂の峰村商店に伺って見せていただきました。



お話を聞きした
野沢 博 事務長



新潟県味噌工業協同組合連合会

味噌業界の発展を推進する組合連合会

新潟県味噌工業協同組合連合会は昭和 26 年頃創設され、上越 (16 社)、中越 (18 社)、下越 (26 社) が所属しています。

目的は新潟県の味噌の品質向上、情報提供、組合員のサポートです。

実際の事業内容は

- ① 毎年、新潟県味噌品評会を開催し、消費者に様々な味噌の味を PR する

- ② 味噌技能士検定 (2 年に 1 回) の推奨を行い、加盟各社の技術向上の為の事業を行う
- ③ 県産大豆の PR と消費拡大を目的に各種イベントの開催を実施する
などです。

新潟県味噌工業協同組合連合会

【連絡先】新潟市中央区出来島 2-11-3

☎: 025-282-1302

味噌が出来るまで (峰村商店で実際の工程を見せていただきました)



① 原料の豆を蒸す



② 蒸した豆に麹・塩・
その他をコンピュータ
に指示し加える



③ 全て加えられた原料は
タンクに入れられ、熟成
室で白味噌 1 か月、赤味
噌 3 か月寝かせられる



④ 熟成が終わったタン
クは熟成室から出され、
製品として詰められる時
を待つ



⑤ 容器に味噌を充填、
ラベルなどを貼って、
出荷となる

峰村商店 明治 38 年、沼垂に峰村仲蔵が味噌醸造業を創業、近くの栗の木川を利用した輸送の良さで発展しました。最近では、発酵食品の開発、味噌造り体験教室の開催など地域との連携も深めています。古い蔵を改造した売店では味噌・味噌漬け、麴入りのジェラードなど販売しています。現在でもこの沼垂では、数が減っていますが、日本酒、味噌、醤油、納豆などの発酵食品製造業が盛んで日本でも珍しい地区に発展しています。



応対していただいた
右: 企画室 志村 毅 課長
左: 村山 三郎 工場長



土蔵を改造した峰村商店の直売店

【連絡先】株式会社 峰村商店
新潟市中央区明石 2-3-44

☎: 025-250-5280

発酵食品の味噌はすばらしい！

味噌は日本人のソウルフードです。朝食で出る香り高い味噌汁。その一口は五臓六腑までしみわたります。この味噌の品質向上のため日々奮闘している新潟県味噌工業協同組合連合会の、このきめ細かい指導があってこそ新潟産のおいしい味噌がいただけるのかもしれません。味噌は麹で分解される大豆蛋白で、消化がよく、ストレス解消、ガン予防と、いいことづくめということです。

今回訪問した峰村商店では、味噌を通しての製品開発はもちろん、工場見学、子ども達への味噌造り講習会など地域社会の次世代への味噌文化継承にも貢献しています。 (編集委員 藤田 純子)